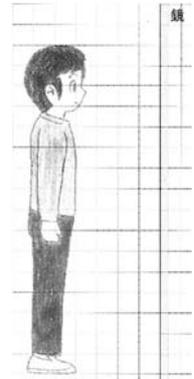
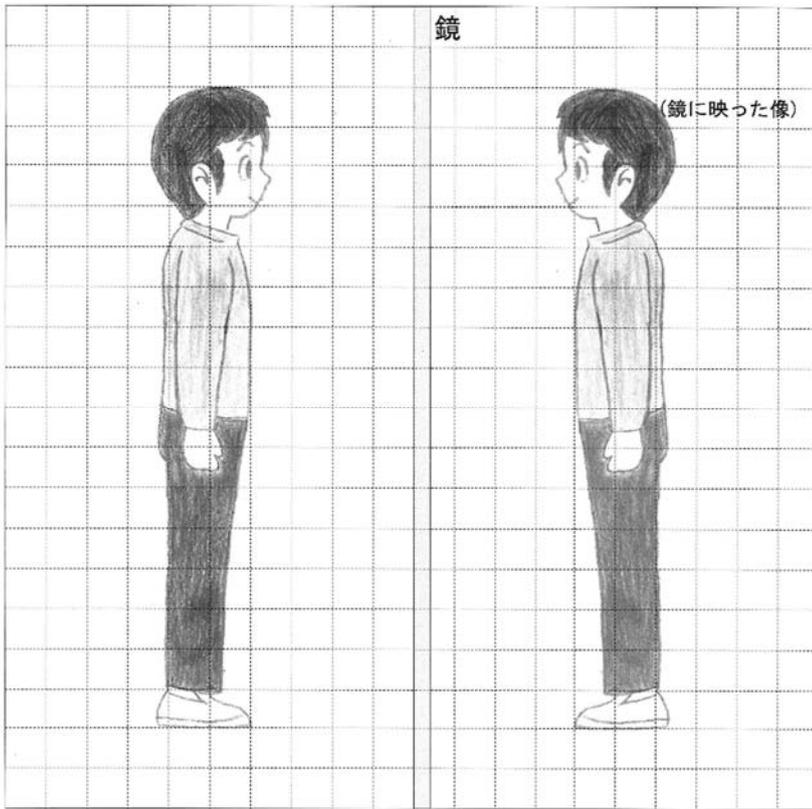


課題：鏡に映る自分の姿について調べよう**実験方法**

- ① 鏡の前に立ち、自分の全身を映すために必要な鏡の大きさを調べる。
- ② 全身を映すために必要な鏡の大きさについて、なぜその大きさでよいのか説明できるよう、その理由を個人で考える。
- ③ ②の活動を基に、班ごとに、ワークシート(別紙)を用いて課題に取り組む。
- ④ 班で取り組んだ内容を発表する。
- ⑤ 発表を聞き、分かったことをまとめる。





.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

| 評 価 欄 | |
|-------|-------|
| 結 果 | ま と め |
| | |

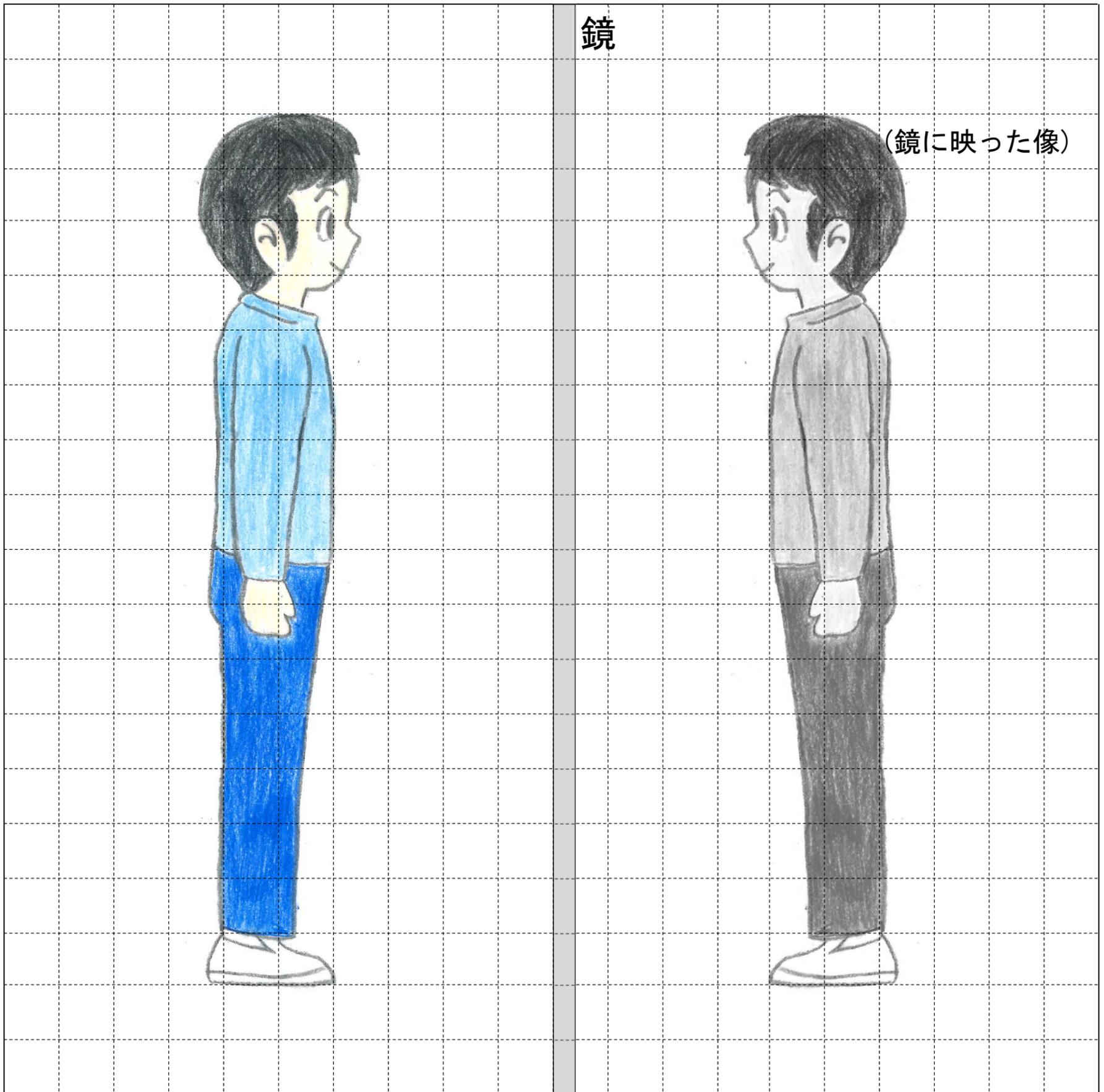
これまでの学習内容で生かされたこと、実験をしてみて疑問に思ったことなど…

.....

.....

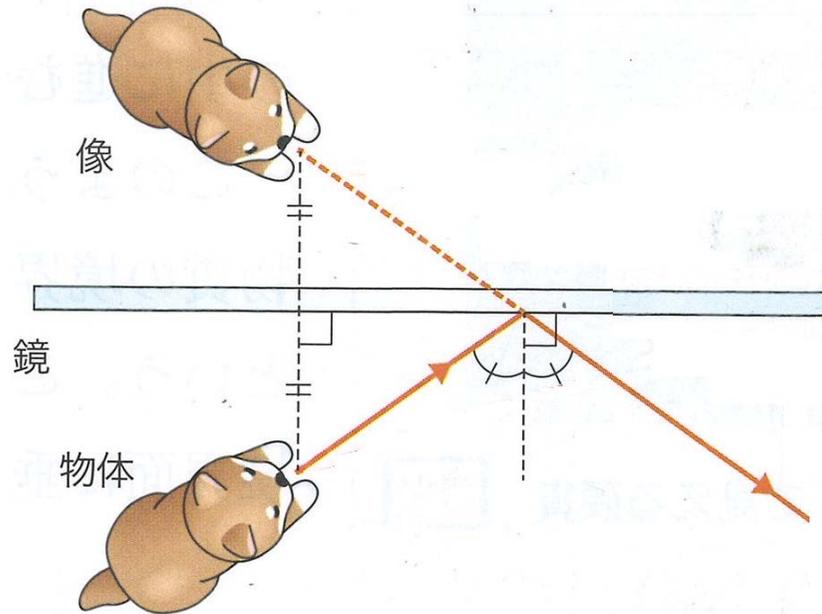
自己評価

- ・興味をもって、積極的に実験ができたか。 A ・ B ・ C
- ・実験の目的をよく理解して取り組めたか。 A ・ B ・ C
- ・実験結果から、鏡に映る像と光の反射の法則との関係について理解することができたか。 A ・ B ・ C



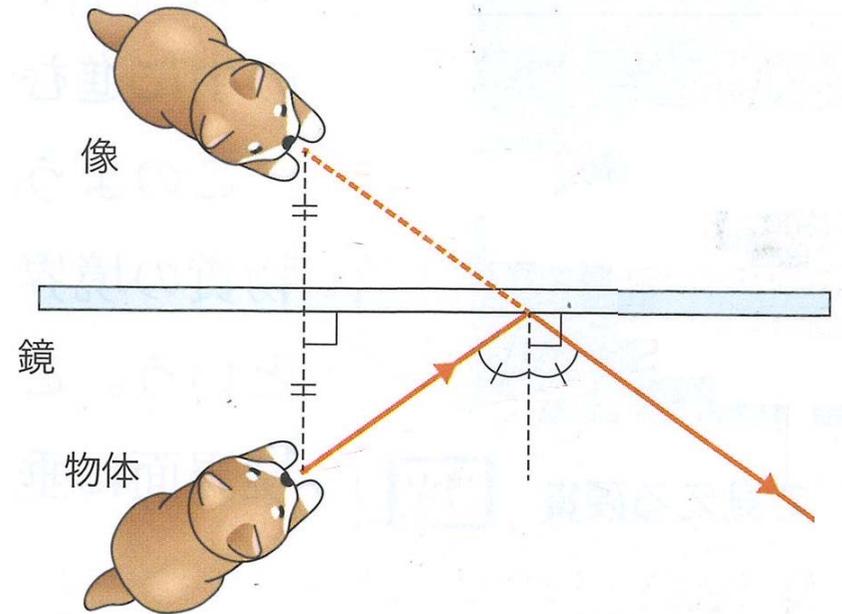
ヒントカード①(これまでの復習)

- ・鏡の前の物体と、鏡に映った像は、鏡の面を基準に線対称の関係になります。



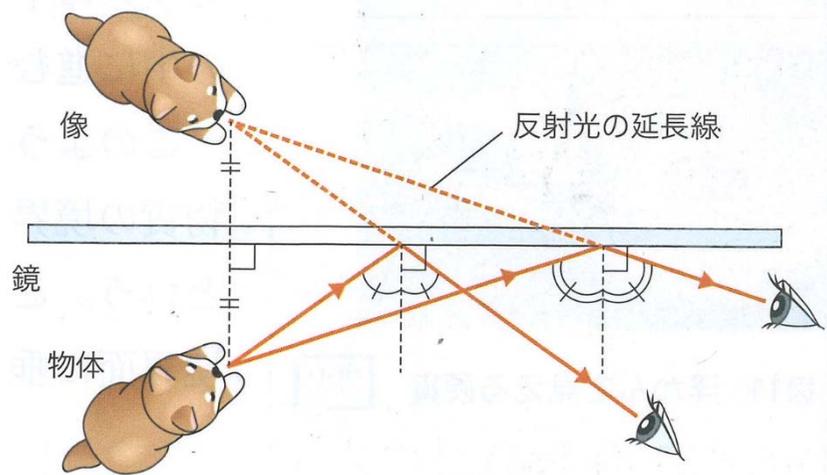
ヒントカード①(これまでの復習)

- ・鏡の前の物体と、鏡に映った像は、鏡の面を基準に線対称の関係になります。



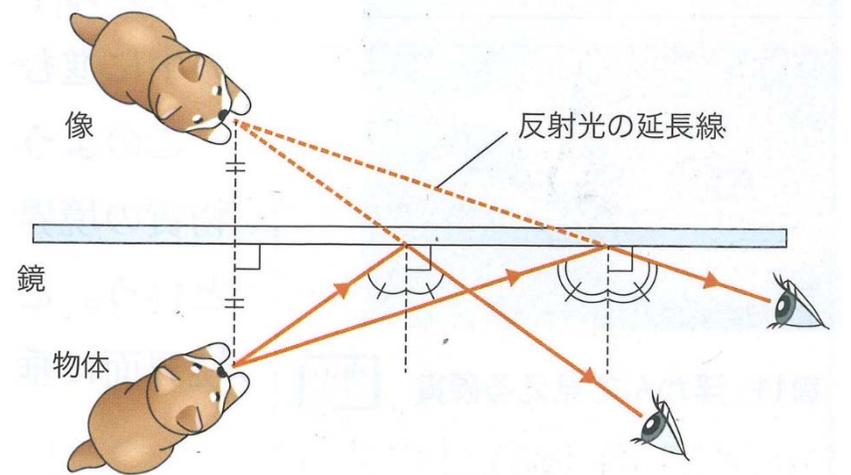
ヒントカード②(これまでの復習)

- ・鏡にうつった像を見る場合、鏡の中の像から目に向かって、光がまっすぐに進んでいるように見えます。



ヒントカード②(これまでの復習)

- ・鏡にうつった像を見る場合、鏡の中の像から目に向かって、光がまっすぐに進んでいるように見えます。

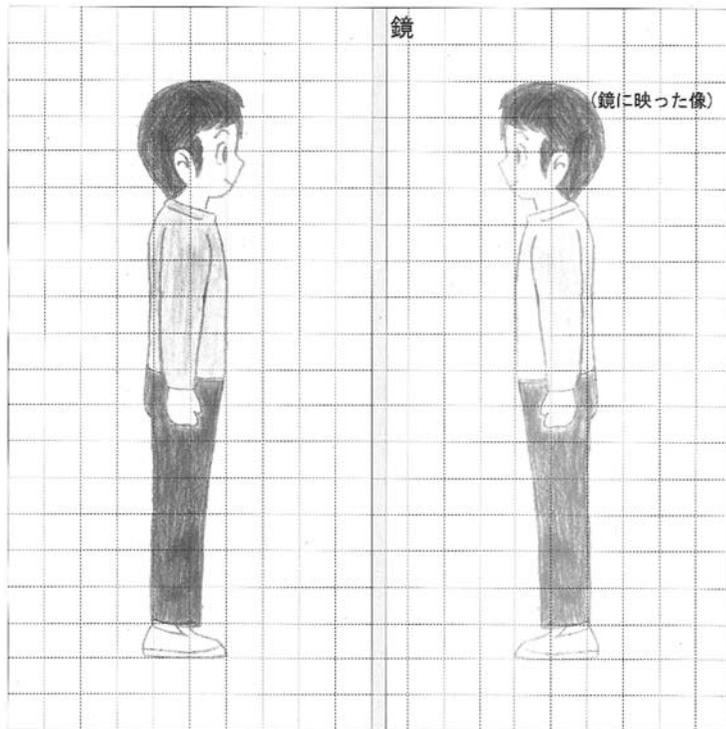


ヒントカード③(考え方のポイント)

全身が見えるためには…

- ・頭のとっぺんからの光
- ・足先からの光

が、それぞれ目に入ると、全身が見えます。

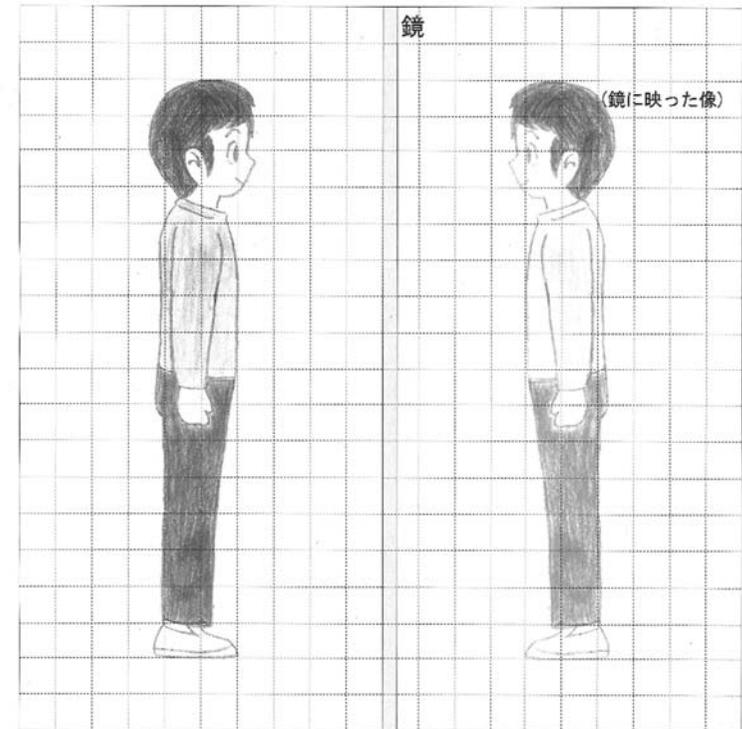


ヒントカード③(考え方のポイント)

全身が見えるためには…

- ・頭のとっぺんからの光
- ・足先からの光

が、それぞれ目に入ると、全身が見えます。

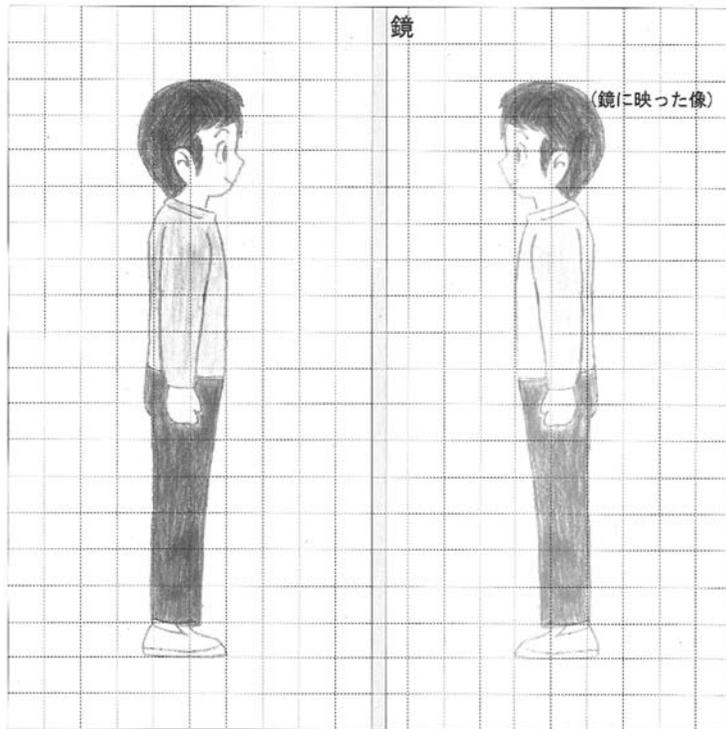


ヒントカード④(考え方のポイント)

- ・頭のとっぺんからの光
- ・足先からの光

は、それぞれ鏡のどの部分に当たって反射すると、目に届くでしょう？

(光の反射の法則を使って考えましょう！)

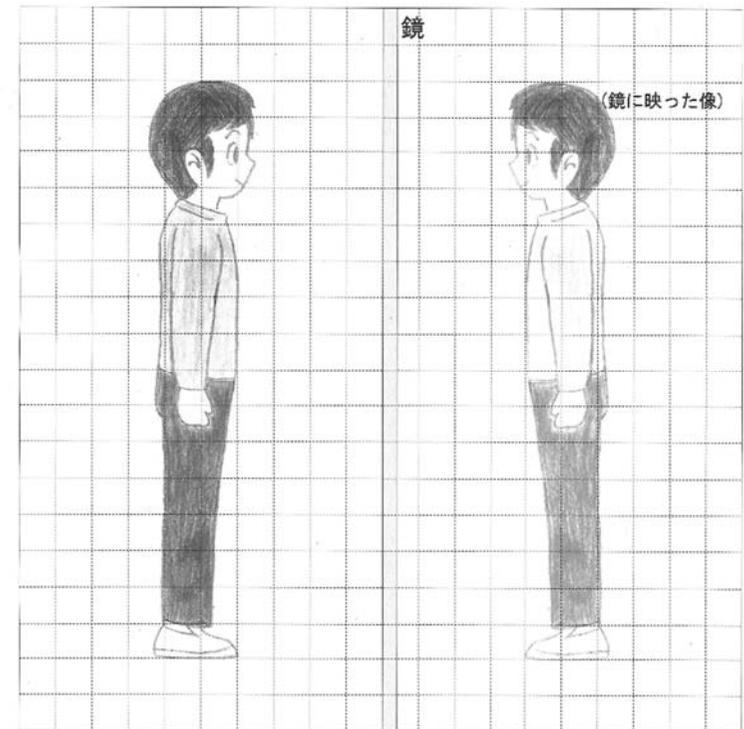


ヒントカード④(考え方のポイント)

- ・頭のとっぺんからの光
- ・足先からの光

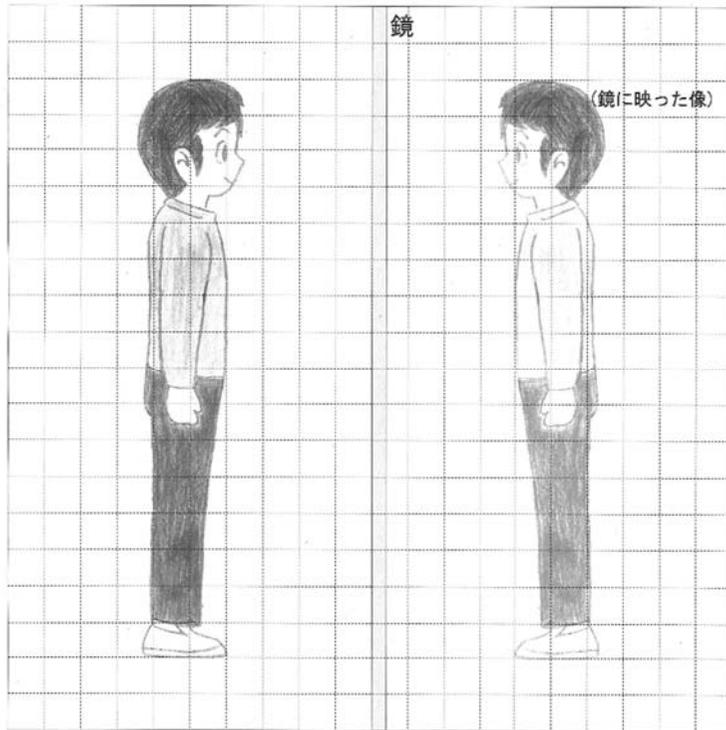
は、それぞれ鏡のどの部分に当たって反射すると、目に届くでしょう？

(光の反射の法則を使って考えましょう！)



ヒントカード⑤(考え方のポイント)

- ・頭のとっぺんからの光
 - ・足先からの光
- が、実際にどのように反射するか、ワークシートに鏡を置き、光源装置を使って実際に確かめてみては？



ヒントカード⑤(考え方のポイント)

- ・頭のとっぺんからの光
 - ・足先からの光
- が、実際にどのように反射するか、ワークシートに鏡を置き、光源装置を使って実際に確かめてみては？

